

ニチキッズ仙台あらい保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月27日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、活動内容を考え全職員で取り組んだ。子ども一人ひとりに丁寧に関わり愛情を込めて温かい保育を行うことを共有した。
子どもの発達援助	各年齢に沿った発達援助については達成することが出来た。子ども達が自発的に遊びに取り組めるように色々な遊びのコーナーを設けることにより自分の好きな遊びを選んで夢中になって遊ぶ姿が見られた。今後も環境作りの工夫を継続する。
保護者に対する支援	今年度も一人ひとりの保護者に子どもの様子をきちんと丁寧に伝えることに努めた。必要に応じて保護者との面談を設け、園での子どもの姿や家庭での様子を伝え合い、連携を図るようにした。ホームページや運営委員会等を通して園の取り組みについて今後も発信していきたい。
保育を支える組織的基盤	5月よりコロナ禍が明け、外部研修の一部が集合形式で開催されるようになった。内部研修を含め、保育体制を取りながらの研修参加は厳しいものがあつたが、研修で学んだ内容を保育の中に実践として活かし更なる質の向上を目指したい。

総評
開園8年目を迎え、園の運営や行事の持ち方等、保育園としての基盤が作り上げられていることを感じている。5月連休後よりコロナ禍から明け、各行事を従来通りに行うよう職員間で検討しながら進めてきた。保護者より、「コロナが流行する前のように行事を実施してもらえて嬉しかった」という声を沢山聞くことが出来た。今年度、「STEAM教育の実践報告を通して職員間で共通理解を深める」ことを目標としてきた。昨年度よりも取り組み内容を職員間で共有できたと感じている。実践担当以外の年齢のクラスでも、STEAM教育の主旨や目的を日々の保育の中に取り入れることができる、ということを知り、保育の質の向上に繋がることを感じた。また、「職員間の情報の共有を迅速にし合う」ことも目標に掲げて具体的な策を講じてきたところ、概ね達成することが出来た。引き続き業務を円滑に進めることができるよう努めていきたい。